

【家庭数】

保護者の皆様

砧の学び舎第9回 4校合同講演会報告書

思春期 心とからだの成長によりそう

山野小学校PTA会長 植木 優介
 砧中学校、砧・明正・山野小学校
 砧の学び舎 4校合同家庭教育学級委員会
 山野小学校家庭教育学級委員長 村田未知世

今年度も残り僅かとなりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。去る11月29日(木)成城ホールにて、砧の学び舎4校合同家庭教育学級を開催いたしました。当日は総勢218名という多くの方にご参加いただき大盛況でした。スタッフ一同、感謝を申し上げます。

今年度は、「思春期」をテーマに、臨床心理士の橋本弘美先生をお招きし講演会を開催いたしました。

講演の内容を一部ではございますが、ご紹介させていただきます。



開催場所：成城ホール

講師：橋本弘美(はしもとひろみ)先生

プロフィール：臨床心理士・臨床歴約30年

現在、世田谷区教育委員会事務局教育指導課学級支援アドバイザー

【西新井こころのクリニック】カウンセラー

これまで、児童相談所・教育相談所・公立中学校カウンセラー・精神クリニックなどで、主に児童・思春期の子どもたちとその保護者の方々の様々な悩みに対してカウンセリングを行ってきた。二児の母。

参加者数：合計218名

砧中学校 62名、(来賓10名 一般6名含む)

砧小学校 32名、山野小学校 62名、明正小学校 62名

<講演内容の紹介>

・子どもとのかかわり

子育ては予定通りには進まないものです。目の前の子どもに合わせて臨機応変に関わらなくてははいけません。

○子どもの行動…子どもは「しない」のではなく「できない」。

・子どもは大人のように先を見通して行動することができないため、自分で必要性を感じなければ行動を変えることはできません。(勉強や片付けなど、やらなくては行けないと理解できていても「できない」状態)

・言ってもできないことは、子どもからの「それしかできない」のメッセージ。

・子どもが育ちたいように育つようにアシストするのが親の役目です。

○子どもの感性…大人の「当たり前」と子どもの「当たり前」は違います。

・子どもは親とは違う人間であり、子どもなりの自分らしさを持っていて、それを認めてほしいと思っています。

・「優しい子になってほしい」と親は望みますが、人から優しくされたことのない子は優しくすることはできません。

○大切なこと…待つこと、子どもからのメッセージをわかつてもらうこと。

子どもの行動は不可解に見えても、すべてが発達に必要なものであり、すべてに意味があります。その意味は子ども本人にもわかりません。大人は「意味があることをしているのだ」と理解してあげることが必要です。子どもと親は別の人間であり、「あたりまえ」の基準もそれぞれ違います。子どもの自分らしさを受け入れて、精一杯生きている事を認めてあげてください。それによって、子どもとの関わりも優しくなるはずですよ。

・思春期について

思春期の頃を覚えていますか？大人の特権は通り過ぎたら忘れるということです。ご自身の経験を踏まえて、反抗していたお子さんが大人になって、「俺って思春期なかったよね」と言ったので、家族は顔を見合わせたという話をされていました。

○思春期の特性…思春期は前頭葉の発達で怒りっぽくなります。反抗反発が生きる意味となる時期です。

- ・自分のことは棚にあげて、周りのことが気になります。
- ・ひとつ嫌なことがあると全部が嫌になってしまう。(全か無)
- ・自己中心的になります。しかし、自分だけ目立つのは嫌。

○かわり方…細かいことをコメントすると、関係が悪くなります。

- ・オープンクエスションは、出された案を実現できないならしないようにしましょう。(今日の夕食なにがよい?など) 必ず実現できるものから、選択式にする方法もあります。

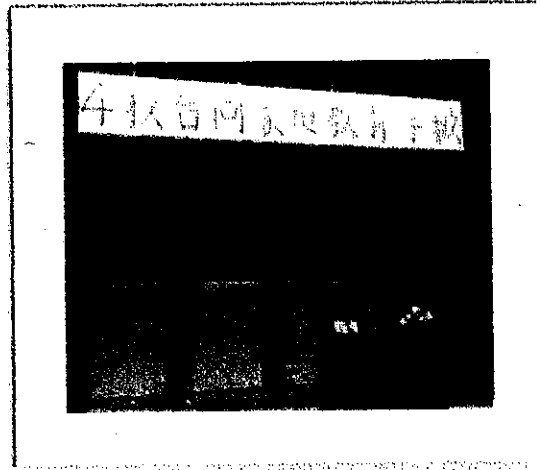
- ・10回書ってもやらないことは、100回書っても変わらない。やらないのではなく、できないと思って対応すると楽になります。人を変えようとするのではなく、自分が変わるようにしましょう。

○大切なこと…自分のことは自分で決めるという体験をさせてあげ

る。自分が自分のあるじになれば、目の前の人の立場に立って物事を考えられることができるようになります。

思春期はトンネルです。トンネルを抜けると、思春期前と同じ、あなたが育てた子どもが戻ってくるので、安心して、反発を受け入れてあげてください。上手に反発させてあげるのが親の仕事です。

子育ては忍耐です。待つ、見守ってあげてください。子どもは言わないのではなく、言えないこともあります。子どもは自分の分身ではないので、自分の価値観を子どもに押し付けないようにしましょう。



<参加者アンケート報告> ご参加いただいた皆様、ご協力ありがとうございました!

1. 今日の講演会はいかがでしたか。

① 大変よかった	118名
② よかった	45名
③ よくなかった	0名
④ どちらともいえない	6名

2. 講演時間はいかがでしたか。

① 長かった	3名
② ちょうどよい	146名
③ 短かった	20名

<ご意見・ご感想>

- ・「子どもは実感・体験できないことはどんなに書ってもできない」という言葉に共感しました。
- ・「関わりの結果が今」というフレーズを大事に育てていきたいと思いました。
- ・すぐできることとして、「自分の発言に責任を持つ(裏の意味を含まない)」には、はっとさせられた。子どもたちとの会話で、適度な返事をしていなかったかどうか、丁寧に受け止めていきたい。
- ・親も「わかっちゃいるけどできない」のです。今はまだ子どもを何とかコントロールできていますが、それが適用しなくなる日が来るわけで、親の方が成長できていないと痛感させられました。
- ・橋本先生の講演が、2回目だったと気づき、あの日からお話を頭に置いて子育てしてきて「私と違う」と早い段階で教わったことがよかったと思っています。
- ・自分と似ていない子を持つ親として、これからどうやって関わればもっと楽しく子育てできるか今後が楽しみになりました。
- ・思春期の娘との向き合い方に悩んでいたため、「受け止める」「待つ」を実践してみようと思いました。
- ・日々の忙しさの中で、流してしまう子どもの言葉や行動にも意味があるのだ、と今日心に刻めました。
- ・理解できない行動と戦いの毎日ですが、行動には意味があるメガネをかけて見てみたいです。
- ・性に関するお話、異性のこと、男女交際についても伺いたかったです。
- ・低学年なので、思春期の頃には私が更年期。思春期 vs 更年期でぶつかり合うことについて、どう思われるか質問したかったです。
- ・ゲームをやったり、何かをしてしまうことには理由があるという話がありましたが、どのような内容が考えられるのかももう少し具体的にお伺いしたかったです。
- ・親とは違う個人であることを、ユーモアを交えてお話しいただき心に残りました。

Mind & Body



学校などのカウンセラーとして長年勤めている橋本先生には、ご自身の経験を例に交えながら思いもよらない子どもの行動などをお話しいただき、有意義な講演会となりました。思春期は細かいことは気にせず忍耐が必要とのことです。子育てのヒントを得られた方も多かったのではないのでしょうか。ぜひ少しでも実践し、より楽しい子育て、そして子どもの成長につなげていただければ幸いです。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。

家庭教育学級委員一同